

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第13回 水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2012年11月7日(水) 13:30~16:00
2. 場所 日本原子力発電(株)本店 1階第7, 8会議室
3. 出席者 (順不同、敬称略)
(出席委員) 勝村(主査)、内田(副主査)、水野、平野、久宗、高木、寺地、佐藤、会沢、福村(10名)
(代理出席委員) 河合(幹事)(中村幹事代理)、西山(中村委員代理)、牧平(菅井委員代理)、西村(荘田委員代理)(4名)
(欠席委員) 上野、岡田、大橋、篠原(4名)
(常時参加者) 杉野、北島、石原、金田、渡辺、竹田、高橋、山口(8名)
(代理出席常時参加者) 一丸(高橋常時参加者代理)、(1名)
(オブザーバー) 上山(1名)
4. 配付資料
P11SC-13-1 日本原子力学会標準委員会水化学管理分科会委員及び常時参加者新旧一覧表
P11SC-13-2 第12回水化学管理分科会議事録(案)
P11SC-13-3 水化学管理分科会の活動の経緯
P11SC-13-4 水化学管理標準に係る取組みについて—システム安全合同タスクグループの進捗状況—
P11SC-13-5 「HWC標準」の進捗状況と今後の進め方
P11SC-13-6 水化学管理分科会と作業会の進め方(案)
5. 議事
 - (1) 出席委員確認について
河合幹事より、出席者の確認の結果、18名の委員中14名の委員の出席があり、決議に必要な定足数(12名以上)を満足している旨の報告があった。
 - (2) 人事について
河合幹事より、P11SC-13-1 日本原子力学会 標準委員会 水化学管理分科会委員及び常時参加者新旧一覧表を用いて、新任委員について報告があった。分科会の新委員については、システム安全専門部会で承認される必要がある。常時参加者については、全会一致で承認された。
また、BWR及びPWR水化学管理指針作業会の委員の交替についても、全会一致で承認された。

(3) 前回議事録の確認について

河合幹事より、資料 P11SC-13-1 の前回議事録(案)について確認を行い、承認された。

(4) 水化学管理分科会の活動の経緯について

河合幹事より、資料 P11SC-13-3 「水化学管理分科会の活動の経緯」の報告があった。特にコメントは無く、経緯について確認された。

(5) 「水化学管理標準に係る取組みについて－システム安全合同タスクグループの進捗状況－」について

久宗委員より、資料 P11SC-13-4 に基づき、水化学管理標準作成にかかるシステム安全合同タスクグループ（以下「合同タスクグループ」）の進捗状況について説明があった。

主なコメントは以下のとおり。

- ・ アクションレベル、管理値及び許容時間はどの様に設定するのか？
→合同タスクグループの枠組みを受け、今後 E P R I などを参考に分科会及び水化学管理指針作業会で議論し、決めていくことになる。
- ・ 東電福島第一事故に関連する内容を水化学管理指針に記載する必要があるのか？
→水環境面から事故を起こさないように構造材料・燃料健全性を担保できるようにする。対象とする内容はプラントが通常に運転されていることになる。
- ・ 法体系と水化学管理指針の関連は？
→原子力学会の自主基準として水化学管理指針を作成する。
- ・ 合同タスクグループの管理項目や診断項目は、最終確定として捉えるのか。
→合同タスクグループでは最小限の要求としており、分科会及び作業会の中で議論することになる。
- ・ 水化学管理指針の完成時期は？
→2015 年の上期を目標とする。

(6) 「「HWC 標準」の進捗状況と今後の進め方」について

久宗委員より資料 11SC-13-5 に基づき、HWC 標準の進捗状況と今後の進め方について説明があった。

主なコメントは以下のとおり。

- ・ HWC での E C P の値は？
→HWC では、-100mV である。
- ・ 解析で評価するのか、モニタリングをするのか？
→E C P のモニタリングは必要と考えている。

- ・ HWC標準と原技協の予防保全ガイドラインとはどのような関係付となるのか。
→HWC標準は、予防保全ガイドラインをサポートする関係にあり、今後、基準(Code)若しくは指針(Guide)として策定するかを検討する。

(7) 水化学管理分科会と作業会の進め方(案)

河合幹事より、資料 P11SC-13-6 に基づき、今後の水化学管理分科会と作業会の進め方について説明があった。

主なコメントは下記のとおり。

- ・ 燃料、PLMと議論できる場を今後も設けた方が良いのではないか？
→合同タスクグループは解散されるので、燃料、PLM分科会へフィードバックできるように水化学管理分科会に燃料、PLMの委員を追加した方が良いかもしれない。合同タスクグループで議論する。
- ・ HWC標準原案作成スケジュールでは、過去の分析標準策定の実績から標準委員会の中間報告は無理と考える。HWC作業会にて議論し進めること。
- ・ 次回の水化学管理分科会を3月に開催予定としているが、春の大会もあり4月にずらしてはどうか？
→水化学管理指針作業会の進捗を踏まえて調整する。

(8) 今後の予定

次回分科会は、平成25年4月頃に開催する予定とし、平成25年1,2月に幹事が開催日を調整し、メールで各自に連絡することとした。

以上